

申請書の書き方 (表面)

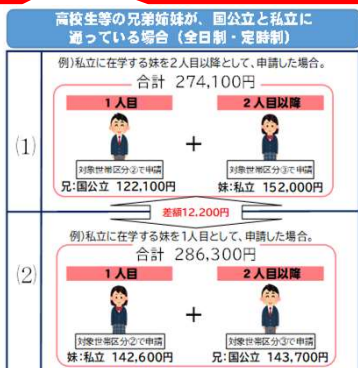
<全日制・通信制・定時制>

(新生・前倒し支給用)

- 申請者は、保護者(親権者)等になります。
- 申請者は、生徒1名に対して、その生徒の保護者(父母等)のいずれか1名としてください。
- ここで記入していただく申請者は、**「口座振替申出書」**(申請者全員が提出)、**「扶養誓約書」**(該当者のみ提出)に記入いただく申請者と同一人物でなければいけません。

【申請区分】

該当する世帯区分の**いずれか一つに、○を記入**してください。(重複して申請できません。)
→以下、世帯区分①～④と記載します。



非課税世帯(通信制・専攻科除く)で国公立の高等学校等に在学する兄弟姉妹がいる場合は、給付額が12,200円(年額)多くなるように、**上図の(2)(私立に在学する高校生等を1人目として世帯区分②、国公立に在学する高校生等を2人目以降として世帯区分③)で申請するようにして下さい。**
※兄弟姉妹が全員私学の場合は、どなたを②③にするかで合計金額に差はできません。
※上記の金額は年額ですので、前倒し支給額とは異なります。

○「**①**奈良県高校生等奨学給付金申請書」の書き方と、記入上の注意事項です。

○記入にあたっては、**黒字のボールペン**で記入してください。(消せるボールペンは使用しないでください。)

○記入誤り等は、その部分を**二重線で消したうえで訂正**してください。(修正テープや修正液は使用しないでください。)

第1号様式(第5次関係) 奈良県知事 殿 申請日 令和6年 4月 30日

令和6年度 奈良県高校生等奨学給付金申請書【新生・前倒し支給用】

4～6月分に相当する額の前倒し支給申請
奈良県高校生等奨学給付金の4～6月分に相当する額の前倒し支給申請します。
※基準日(4月1日)現在の状況に基づき、審査します(課税証明書:申請年度の前年度のものを選択)。

7～3月分に相当する額の支給申請
既に4～6月分に相当する額の前倒し支給を受けているため、7～3月分に相当する額の支給申請します。
※基準日(7月1日)現在の状況に基づき、審査します(課税証明書:申請年度のものを添付)。

ふりがな	なら たろう	申請者	奈良 太郎	住所	奈良県 奈良市登大路町30	
申請者(保護者等)	奈良 太郎	申請者	奈良 太郎	連絡先電話番号①	0742-27-8347	
連絡先電話番号②	090-1234-5678	※日中連絡が可能な連絡先				
高校生等との関係	親権者 未成年後見人・主たる生計維持者・本人・その他()					
対象となる高校生等	ふりがな	なら みゆこ	生年月日	昭和 20年 5月 21日 (15歳)	学年	1年 1組 (出席番号 29)
在学する学校名	私立	〇〇学園高等	学校	普通科・通信制・定時制(課程)		
<転学・通学等がある場合>	学校名	私立	年月日	年月日	学校の種別・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
過去の高等学校等における在学期間	学校名	私立	年月日	年月日	学校の種別・課程・学科	なし 1回 2回 3回 4回 不明

11 申請区分について
申請される世帯区分に○を記入してください。(1箇所のみ記入してください。)

申請	世帯区分
① 全日・定時・通信制(生活保護(生業扶助(高等学校等奨学給付金)受給世帯)	①②以外の世帯 (他に高校生等または、16歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟・姉・妹がいない場合など)
② 全日・定時	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税である世帯
③ 全日・定時	対象となる高校生等の他に、高校生等または16歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟・姉・妹が2人以上いる世帯(①②を除く)
④ 通信制	対象となる高校生等が通信制課程に在籍している世帯

12 生活保護の受給状況について
基準日現在の世帯について、該当するものを選択(○)してください。

生活保護(生業扶助(高等学校等奨学給付金)を受給しています。 →「生活保護受給証明書」を添付します。[6]を確認し、記載してください。[3][4]の記載は不要です。

生活保護(生業扶助(高等学校等奨学給付金)を受給していません。 →[3][4][6]を記入してください。

13 保護者等の所得の状況について
次の者の課税証明書等を提出します。①から⑤の中から、該当するものを選択(○)してください。

① 親権者(父と母)2名分 又は 主たる生計維持者※1(父又は母)2名分
※配偶者が扶養控除により、非課税の場合も2名分の課税証明書等の提出が必要(省略不可)

② 親権者(父又は母)1名分 又は 主たる生計維持者※1(父又は母)1名分
※親権者が一時的に親権を行使し、児童相談所長(児童福祉司)の指示がある場合は、その者を除く

③ 未成年後見人()1名分
※未成年後見人が、法人である場合又は財産管理に関する権限のみを行使すべきとされている場合は、その者を除く

④ 生計の生計をその親に維持している者(主たる生計維持者)1名分 (欄外※1に該当する場合は○)
※親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (例)祖父母や兄弟等に養育されている場合
※成人しているが、主たる生計維持者が存在しない場合 (例)生徒が成人で、かつ親・配偶者等の扶養になっっている場合

⑤ 生計の本人
①～④に該当する親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合
※1 ①②の主たる生計維持者 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から基準日まで生計を維持する(①の場合は父と母、②の場合は父又は母)に留意してください

課税証明書を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄(※1)印を付けた場合は不要です。	氏名	生徒との続柄
奈良 太郎	父	奈良 咲子
		母

【高校生との関係】
対象となる高校生等と保護者等の関係について、該当する項目を**○で囲んでください。**

【対象となる高校生等】
高校生等について、課程名を**○で囲み、学科名を記入**してください。

【過去の高等学校等における在学期間】
前籍校がある場合は、**<学校名>、<在学期間>、<課程・学科名>、<前籍校における給付金の受給回数>**

【保護者等の所得の状況について】
以下の①～⑤のうち、該当する番号の**□に☑チェック**してください。

- 親権者等が父母の2人の場合
※配偶者が扶養控除により、非課税の場合も2名分の課税証明書等の提出が必要(省略不可)
- 親権者等が、父又は母のいずれか1人の場合
- 未成年後見人が保護者である場合
(未成年後見人の数も記入してください。)
- 親権者、未成年後見人が存在せず、主たる生計維持者が存在する場合
- 上記の①～④のいずれにも該当しない場合であり、
・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しないとき

【保護者等の所得の状況について】
・課税証明書を添付する
<保護者等の氏名>及び<生徒との続柄>を記入してください。

申請書の書き方（裏面）

【扶養親族の状況について】

令和6年4月1日現在の世帯員に、高校生等または15歳（中学生を除く）以上23歳未満の申請者に扶養されている兄・姉・弟・妹の有無を**チェック**してください。

- 兄・姉・弟・妹がいる→(2)の世帯全員の状況を記入してください。
- 兄・姉・弟・妹がいない→(2)の世帯状況を記入しないで、【5】確認事項を記入してください。

【確認事項について】

1～5に記載の項目について確認していただき、**口にチェックをして、申請者の氏名を記入**してください。

5. 給付金の受給回数は**これまでに受給された回数**を記入してください。

今回初めて申請される方…「0」

【学校記入欄について】

・学校記入欄の日付が、**令和6年4月18日以前又は5月16日以降の日付である場合は、受理できません。**

【チェックリストについて】

・提出前に、対象要件に該当するか、必要事項が記入しているか、必要書類を添付しているか、等について確認し、チェックしてください

【1】で③区分を選択された方は記入

【4】 扶養親族の状況について

(1) 基準日現在の世帯員の扶養状況について、該当するものを選択(☑)してください。

対象となる高校生等の他に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹がいます。
 一次の【4】(2)を記入してください。

対象となる高校生等の他に、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹はいません。
 一【5】へ進んでください。(2)の記入は不要です。

(2) 表面の【1.申請区分について】で、申請区分③に該当する場合のみ、記入してください。
 基準日現在の、世帯全員の状況を記入してください。
 ※続柄は、対象となる高校生等を基準としてください

続柄	氏名	生年月日	年齢	職業又は学校名・学年	給付金の申領の有無	申請区分③に該当する扶養者★
対象となる生徒本人	奈良 都子	S・ H ・R 20 / 5 / 21	15	〇〇学園高等学校 1年	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
父	奈良 太郎	S ・H・R 47 / 5 / 30	51	会社員	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
母	奈良 咲子	S ・H・R 48 / 8 / 2	50	パート	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
兄	奈良 鹿男	S・ H ・R 16 / 7 / 2	19	〇〇大学 1年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	○
		S・H・R / /			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		S・H・R / /			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

★対象となる高校生等以外の、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹に○印を記入してください。
 なお、対象は平成13年4月3日から平成21年4月2日生まれの方です。

【5】 確認事項

下記の事項について確認のうえ、口にレ点をつけ(☑)、5に受給回数を記入してください。

1. 本申請書及び添付書類等の記載内容に相違のないことを誓約します。

2. 申請にあり以下の項目について了承します。
 (1) 生活保護の受給状況について、住所地を所轄する市町村担当課等に照会する場合があること。
 (2) 申請書類に虚偽の記載を行うことにより、本来受けることができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を直ちに返還しなければならないこと。

3. 私は、今年度、対象となる高校生等※について、奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行ってありません。

4. この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

5. 高校生等※について、高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、 0 回です。
 ※ この申請書の対象となる高校生等のことです。

学校が記入

この欄は学校が記入するため、何も書かないでください。
 ※必ず学校に記入いただき、日付の記入及び校長印が押された状態で提出してください。

学校印

対象要件チェックリスト

<今年度の新入生> かつ <生活保護(生業扶助(高等学校等就学費))受給世帯 または 住民税所得割非課税世帯> が本申請の対象です。

記入事項チェックリスト

申請年月日を記載した

チェック欄(【2】～【5】の口)にチェック(☑)漏れがない

学校記入欄に記入されている(奈良県外の学校の場合)

添付書類チェックリスト

(全員) 生活保護(生業扶助(高等学校等就学費))受給世帯の場合: 「生活保護(生業扶助)受給証明書」
 住民税所得割非課税世帯の場合: 「課税証明書」または「住民税決定通知書」、「納税通知書」等

(全員) 「口座振替申出書」

(該当者) 「扶養誓約書」

全員記入

全員対象: 提出前にご確認ください

【世帯全員の状況】

上記(1)の項目で、「高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の兄・姉・弟・妹がいます。」と答えた方(世帯区分③)のみ、記入してください。

- ・令和6年4月1日現在の状況を記入してください。
- ・「給付金の申請の有無」には、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の、申請者(保護者等)に扶養されている兄・姉・弟・妹の令和5年度の奨学給付金制度への申請の有無を**チェック**してください。
- ・続柄は、対象となる高校生等からみた関係を記入してください。

●表右端の「世帯区分③に該当する扶養者★」には、高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の、申請者(保護者等)に扶養されている兄・姉・弟・妹に**○印を記入**してください。

●対象となる「高校生等または15歳(中学生を除く)以上23歳未満の被扶養者」については、扶養誓約書により判断します。

●ひとり親家庭の場合、兄・姉・弟・妹は、申請者に扶養されていることが必要であり、申請者以外の者に扶養されている場合は、申請区分③の兄・姉・弟・妹に該当しません。